

東京府華族

子爵 吉田清成

弘化三年乙巳三月生

明治四年
二月十一日

大藏省出仕被仰付、御用有之大阪出張被仰付
大藏省

三月六日

各國條約改定御用掛被仰付

五月九日

任大藏少丞

教從六位

五月三日

御用有之大阪表へ出張被仰付

大藏省

七月廿日

任租稅權頭

攝政院

九月七日

横濱出張被仰付

大藏省

十月六日

任大藏少輔

十一月廿日

御用有之大阪表へ出張被仰付 太政官

十二月廿日

教正五位

五年
二月三日

理事官トシテ米國へ被差遣 太政官

今般理事官トシテ米國へ被差遣及ニ付

副紙條款之事務全權令委任候條便宜

處分可致事 (御委任條款畧ス)

六年
八月八日

歸朝

七年
四月廿日

大藏卿大隈重信長壽出張中代理被仰

八月三日	同大統領箱根巡覽三付同行被仰付
七月十日	同行被仰付 同上
五月十日	御用有之滞京被仰付 同上
四月五日	付 米國前大統領迎接トシテ長崎出張被仰付 同上
四月十日	被仰付 同上
十二月三日	條約改正取調御用掛被仰付 太政官
十一月十日	歸朝
十一月十日	叙勳三等
十一月十日	可申出事 太政官
十一月十日	叙從四位 米國費拉特費府博覽會御用掛被仰付 候条出品場所其外諸事取調ト上見込
九月十日	米國在勤被仰付 太政官
八月十日	任特命全權公使但三等官月俸下賜 同上
七月十日	御用有之造幣寮出張被仰付 太政官

振 密 院

樞密院

十三年 一月廿八日	御用濟二付滞京被免	同上
二月十日	御用有之一先滞京可有之事	外務省
二月廿日	自今一等年俸下賜	太政官
二月廿日	叙勳二等	
四月一日	赴任	
五月廿日	明治十四年一月一日米國華頓府ニ於テ開 設ノ萬國衛生會ニ我政府ノ代表員	
十五年 二月廿日	被仰付	太政官
	歸朝	
七月廿日	任外務大輔	
八月廿日	外務卿井上馨不在中代理被仰付	
		太政官
九月廿日	外務卿井上馨不在中代理被仰付	
		同上
十六年 二月廿日	除服出任	同上
五月廿日	外務卿井上馨不在中代理被仰付	
		同上
十七年 七月廿日	兼任議定官	
三月廿日	西班牙國皇帝陛下ヨリ贈与ニシテ「ケランド	

クロースエカベラカトリーキ勲章ヲ受
領シ及佩用スルヲ允許ス

四月三日

條約改正議會副委員被仰付 太政官

青島

葡萄牙國皇帝陛下ヨリ贈与ニタルコル
ド

ルミリテールドラコロンセプレヨンドノートル

カムドウイラウ井シオリ第一等勲章ヲ

受領シ及ニ佩用スルヲ允許ス

七月廿日

御用有之北海道へ出張被仰付 太政官

八月廿日

伊太利國皇帝陛下ヨリ贈与ニタルコ
ラ

ドーネデルオルデラコロンナテイトリヤ勲章

授 院

ヲ受領シ及ニ佩用スルヲ允許ス

九月廿日

御用有之栃木福島兩縣へ被差遣

太政官

十月廿日

北海道へ出張被免 同上

十一月廿日

外務卿井上馨不在中代理被仰付 同上

三月廿日

外務卿伯爵井上馨特派全權大使トシテ

朝鮮國へ被差遣及ニ付不在中外務卿代

理被仰付 同上

十八年
四月廿日

布哇國皇帝陛下ヨリ贈与ニタルナイトグラ

ニトコロラスラフゼクラウシラフハロ井勳章
ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許ス

五月七日
露西亞國皇帝陛下ヨリ贈与シタル神聖
スタニスラス第一等勳章ヲ受領シ及ヒ
佩用スルヲ允許ス

五月十日
白耳義國皇帝陛下ヨリ贈与シタルグランド
フジシエドレヲポール勳章ヲ受領シ及ヒ
佩用スルヲ允許候事

七月三日
來ル明治二十三年東京ニ於テ亞細亞大博
覽會開設ニ付該會組織取調委員使

樞密院

仰白
太政官

九月三日
任農商務大輔兼議定官如故

十月三日
佐賀縣外七縣聯合綿茶砂糖鰯生

絲織物共進會廢費授与トシテ該縣

ハ出張被仰付
農商務省

三月十日
條約改正議會副委員被免
太政官

十九年
千葉縣下總國種畜場實況視察ト

シテ出張被仰付
内閣

二月五日
波斯國皇帝陛下ヨリ贈与シタル獅子大

陽第一等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用ス

二月二十日	廣官	凡之許不
三月四日	任農商務次官、兼議定官如故	
三月廿日	叙勅任官一等賜上級俸	
五月六日	一府六縣聯合水産共進會褒賞 授与、為二十縣、出張被仰付	内閣
五月十九日	德島縣ニ於テ四國聯合砂糖茶葉烟草紙織物共進會、褒賞授与式執行、出張被仰付	同上
六月廿五日	愛媛廣島岡山、三縣巡回、御用有之群馬縣下、被差遣	内閣
九月六日	山林其他所管、事業視察、巡回靜岡縣下巡回被仰付	同上
十月十日	亞細亞大博覽會組織取調委員被免	同上
十月二十日	叙從三位	
十一月四日	廣島縣ニ於テ京都府外七縣聯合繻綿織物紙茶共進會褒賞授与式執行、出張被仰付	内閣

樞密院

二十一年
五月九日

特旨ヲ以テ華族ニ彼列侯事

宮内省

依勳功特授子爵

同日
七月三日

任元老院議官兼議定官如故

敘勅任官一等

内閣

二十一年
五月十日

任樞密顧問官兼議定官如故

同日
十月三日

敘正三位

二十二年
三月三日

大日本帝國憲法發布記念章授与

同日
十二月七日

敘勳一等賜瑞寶章

二十四年
七月三日

特旨ヲ以テ位階被進

宮内省

樞密院

敘從二位

同日
八月三日

薨去